

発議第7号安倍晋三元首相の「国葬」中止を求める意見書について反対の立場で討論いたします。

まず、反対理由について申し上げます。この意見書の中を見ても、安倍元首相の政治的立場や政治姿勢に対する国民の評価は様々であると言及があるものの、中段部分では、安倍元首相が行ってきたことが問題で、それが国葬の反対理由と読み取れます。

私は政治姿勢が問題点ではなく、国葬に対する議論が不十分であること、国葬における基準が明確でないこと、国葬の予算が約2億程度であったのにもかかわらず、蓋を開けてみれば6倍以上にも膨れ上がったことを問題視しております。世論調査においても国葬に疑問を持ち、反対する人が増えています。しかし、政党支持率や安倍元総理が戦後最長の総理大臣として就任できたという事実を鑑みると、政治姿勢に対する批判が国葬反対になっているとは言い難いと私は考えます。

政治姿勢が問題なのではなく、基準をきちんと設ける議論が必要です。今後、どんな政党のどんな立場の人であろうと、政争の具にならないような、基準を設けることが急務であり、それを国民は求めているのだらうと私は考えます。その問題点だけを言及した意見書であれば、賛同しましたが、野田市議会において、部分採択は認められないと記憶しておりますので、この意見書には残念ではありますが反対とさせていただきます。